

適用規格						
定 格	使用温度範囲		-35℃～ +85℃（注1）	保存温度範囲	-10℃～ +60℃（注3）	
	使用湿度範囲		20% ～ 80%（注2）	保存湿度範囲	40% ～ 70%（注3）	
	電 圧		AC/DC 50V AC/DC 100V（注4）	電 流	AWG28：2.0A AWG30：1.5A AWG32：1.0A AWG34：0.8A	
	UL・ C-UL 定格 ⚠	電圧	AC/DC 50V	適合コネクタ	DF57H-3P-1.2V(##) DF57H-2P-2.4V(##)	
		電流	AWG28：2.0A AWG30：1.5A AWG32：1.2A AWG34：1.0A		適合圧着端子	DF57-2830SCF DF57-3234SCF
		使用温度範囲	-35℃～ +75℃（注1）			
性 能						
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT	AT
構 造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。			○	○
電 氣 的 性 能	絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。		100 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 500Vの電圧を1分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。		破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。		破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。		破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。		①絶縁抵抗：100 MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → 85℃ 時間 30 → 30分 を 5 サイクル 試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 (室温に1～2時間放置後測定)		①絶縁抵抗：100 MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
備考						
(注1) 通電時の温度上昇を含む。						
(注2) 結露のないこと。						
(注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用湿度範囲を適用。						
(注4) No.2端子抜きの場合。						
	△の数	訂正記事		設計	検図	年月日
⚠	1	DIS-H-008817		TS. KUMAZAWA	TS. FUKUSHIMA	14. 06. 13
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。				承 認	KI. AKIYAMA	12. 10. 25
				検 図	HK. UMEHARA	12. 10. 25
				担 当	TS. KUMAZAWA	12. 10. 25
				製 図	TS. KUMAZAWA	12. 10. 25
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目				図番	SLC4-332438-02	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	DF57H-3S-1.2C (08)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL666-0012-0-08	⚠	1/1